

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合ひましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2026.2.9-15

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合ひましょう。（1～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

12:1 そのころ、イエスは安息日に麦畑を通られた。弟子たちは空腹だったので、穂を摘んで食べ始めた。

12:2 するとパリサイ人たちがそれを見て、イエスに言った。「ご覧なさい。あなたの弟子たちが、安息日にしてはならないことをしています。」

12:3 しかし、イエスは言われた。「ダビデと供の者たちが空腹になったときに、ダビデが何をしたか、

12:4 どのようにして、神の家に入り、祭司以外は自分も供の者たちも食べてはならない、臨在のパンを食べたか、読んだことがないのですか。

12:5 また、安息日に宮にいる祭司たちは安息日を汚しても咎を免れる、ということを律法で読んだことがないのですか。

12:6 あなたがたに言いますが、ここに宮よりも大なるものがあります。

12:7 『わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない』とはどういう意味かを知っていたら、あなたがたは、咎のない者たちを不義に定めはしなかったでしょう。

12:8 人の子は安息日の主です。」

12:9 イエスはそこを去って、彼らの会堂に入られた。

12:10 すると見よ、片手の萎えた人がいた。そこで彼らはイエスに「安息日に癒やすのは律法にかなっていますか」と質問した。イエスを訴えるためであった。

12:11 イエスは彼らに言われた。「あなたがたのうちのだれかが羊を一匹持っていて、もしその羊が安息日に穴に落ちたら、それをつ

かんで引き上げてやらないでしょうか。

12:12 人間は羊よりはるかに価値があります。それなら、安息日に良いことをするのは律法にかなっています。」

12:13 それからイエスはその人に「手を伸ばしなさい」と言われた。彼が手を伸ばすと、手は元どおりになり、もう一方の手のように良くなった。

12:14 パリサイ人たちは出て行って、どうやってイエスを殺そうかと相談し始めた。

12:15 イエスはそれを知って、そこを立ち去られた。すると大勢の群衆がついて来たので、彼らをみな癒やされた。

12:16 そして、ご自分のことを人々に知らせないように、彼らを戒められた。

12:17 これは、預言者イザヤを通して語られたことが成就するためであった。

12:18 「見よ。わたしが選んだわたしのしもべ、わたしの心が喜ぶ、わたしの愛する者。わたしは彼の上にわたしの霊を授け、彼は異邦人にさばきを告げる。

12:19 彼は言い争わず、叫ばず、通りでその声を聞く者もない。

12:20 傷んだ葦を折ることもなく、くすぶる灯芯を消すこともない。さばきを勝利に導くまで。

12:21 異邦人は彼の名に望みをかける。」

安息日の規定は救い主の聖なることを理解するためのものでした。今、その救い主イエスがいるのですから、イエス様を喜び、頼るべきでしたが、パリサイ人はあくまでも律法の規定にしばられていました。

私たちも生きた主イエスと日々交わりましょう。そして律法よりも、喜びで主の御心を聞きましょう。主は「いたんだ葦」「くすぶる灯心」のよう

に、問題の多い私たちをも愛してくださいませ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10日 火曜

マタイ



12:22 そのとき、悪霊につかれて目が見えず、口もきけない人が連れて来られた。イエスが癒やされたので、その人はものを言い、目も見えるようになった。

12:23 群衆はみな驚いて言った。「もしかすると、この人がダビデの子なのではないだろうか。」

12:24 これを聞いたパリサイ人たちは言った。「この人が悪霊どもを追い出しているのは、ただ悪霊どものかしらベルゼブルによることだ。」

12:25 イエスは彼らの思いを知って言われた。「どんな国でも分裂して争えば荒れすたれ、どんな町でも家でも分裂して争えば立ち行きません。」

12:26 もし、サタンがサタンを追い出しているのなら、仲間割れしたことになります。それなら、どのようにしてその国は立ち行くのですか。

12:27 また、もしわたしが、ベルゼブルによって悪霊どもを追い出しているとしたら、あなたがたの子らが追い出しているのは、だれによってなのですか。そういうわけで、あなたがたの子らが、あなたがたをさばく者となります。

12:28 しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに來ているのです。

12:29 まず強い者を縛り上げるのでなければ、強い者の家に入って家財を奪い取ることが、どうしてできるでしょうか。縛り上げれば、その家を略奪できます。

12:30 わたしに味方しない者はわたしに敵対

し、わたしとともに集めない者は散らしているのです。

12:31 ですから、わたしはあなたがたに言います。人はどんな罪も冒すも赦していただけますが、御霊に対する冒すは赦されません。

12:32 また、人の子に逆らうことばを口にする者でも赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、この世でも次に来る世でも赦されません。

12:33 木を良いとし、その実も良いとするか、木を悪いとし、その実も悪いとするか、どちらかです。木の良し悪しはその実によって分かります。

12:34 まむしの子孫たち、おまえたち悪い者に、どうして良いことが言えますか。心に満ちていることを口が話すのです。

12:35 良い人は良い倉から良い物を取り出し、悪い者は悪い倉から悪い物を取り出します。

12:36 わたしはあなたがたに言います。人は、口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日に申し開きをしなければなりません。

12:37 あなたは自分のことばによって義とされ、また、自分のことばによって不義に定められるのです。」

「わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに來ている」と、イエス様は言われました。つまり、主イエスのみわざは、旧約聖書の預言の成就であるということです。

しかし信じない者は、どんなにみわざを見ても信じません。聖霊が心に語っておられるのに、それに「逆らう」なら、その人には救いのチャンスはないのです。ですから「赦されません」ということになってしまいます。

主のみわざを思い、「赦され」て救われた今でも聖霊の語り掛けに対して、常に従順でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11日 水曜

マタイ



12:38 そのとき、律法学者、パリサイ人のうちの何人がイエスに「先生、あなたからしるしを見せていただきたい」と言った。

12:39 しかし、イエスは答えられた。「悪い、姦淫の時代はしるしを求めますが、しるしは与えられません。ただし預言者ヨナのしるしは別です。」

12:40 ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、地の中にいるからです。

12:41 ニネベの人々が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし見なさい。ここにヨナにまさるものがあります。

12:42 南の女王が、さばきのときにこの時代の人々とともに立って、この時代の人々を罪ありとします。彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たからです。しかし見なさい。ここにソロモンにまさるものがあります。

12:43 汚れた霊は人から出て行くと、水のない地をさまよって休み場を探します。でも見つからず、

12:44 『出て来た自分の家に帰ろう』と言います。帰って見ると、家は空いていて、掃除されてきちんと片付いています。

12:45 そこで出かけて行って、自分よりも悪い、七つのほかの霊を連れて来て、入り込んでそこに住みつきます。そうになると、その人の最後の状態は初めよりも悪くなるのです。この悪い時代にも、そのようなことが起こります。」

12:46 イエスがまだ群衆に話しておられるとき、見よ、イエスの母と兄弟たちがイエスに話をしようとして、外に立っていた。

12:47 ある人がイエスに「ご覧ください。母上と兄弟方が、お話ししようと外に立っておられます」と言った。

12:48 イエスはそう言っている人に答えて、「わたしの母とはだれでしょうか。わたしの兄弟たちとはだれでしょうか」と言われた。

12:49 それから、イエスは弟子たちの方に手を伸ばして言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。」

12:50 だれでも天におられるわたしの父のみこころを行うなら、その人こそわたしの兄弟、姉妹、母なのです。」

多くの人が、信じることの根拠として「しるし」、すなわち不思議な出来事を期待します。それで惑わされる人が多いのです。偽の宗教は、人に取り入ろうとするため、欲望を満たすような「しるし」を強調し、それを求める人は自分のために宗教を渡り歩くようになります。これが「悪い、姦淫の時代」ということです。

自分の欲求のための信仰ではなく、主の御心が第一であり、そこに本当の幸いがあるということを中心として、生きましょう。

ヨナも南の女王も、出来事としては特筆すべき「しるし」となるようなことでしたが、イエス様こそが「まさったもの」です。イエス様を愛して、イエス様の出来事と心に感じるができるかどうか。これが信仰のパロメーターを言ってもいいでしょう。

イエス様のことが分るような霊的感性は聖霊によって与えられます。単に心を「掃除してきちんと」片付けるだけでなく、聖霊に満たされて、聖霊に従いましょう。

そのように「みこころを行う者」を、主イエス

は「今日、姉妹、また母」と呼んでくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



12日 木曜

マタイ



13:1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりに座っておられた。
13:2 すると大勢の群衆がみもとに集まって来たので、イエスは舟に乗って腰を下ろされた。群衆はみな岸辺に立っていた。
13:3 イエスは彼らに、多くのことをたとえて語られた。「見よ。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。
13:4 蒔いていると、種がいくつか道端に落ちた。すると鳥が来て食べてしまった。
13:5 また、別の種は土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。
13:6 しかし、日が昇ると焼けて、根がないために枯れてしまった。
13:7 また、別の種は茨の間に落ちたが、茨が伸びてふさいでしまった。
13:8 また、別の種は良い地に落ちて実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。
13:9 耳のある者は聞きなさい。」
13:10 すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに「なぜ、彼らにたとえてお話しになるのですか」と言った。
13:11 イエスは答えられた。「あなたがたには天の御国の奥義を知ることが許されていますが、あの人たちには許されていません。
13:12 持っている人は与えられてもっと豊かになり、持っていない人は持っているものまで取り上げられるのです。
13:13 わたしが彼らにたとえて話すのは、彼らが見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、悟ることもしないからです。
13:14 こうしてイザヤの告げた預言が、彼ら

において実現したのです。『あなたがたは聞くには聞くが、決して悟ることはない。見るには見るが、決して知ることはない。』
13:15 この民の心は鈍くなり、耳は遠くなり、目は閉じているからである。彼らがその目で見ることも、耳で聞くことも、心で悟ることも、立ち返ることもないように。そして、わたしが癒やすこともないように。』
13:16 しかし、あなたがたの目は見えているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。
13:17 まことに、あなたがたに言います。多くの預言者や義人たちが、あなたがたが見ているものを見たいと切に願ったのに、見られず、あなたがたが聞いていることを聞きたいと切に願ったのに、聞けませんでした。

イエス様は旧約聖書に預言された救い主であるということ証しするために、多くの奇跡を行いました。神のみことばを信じる者は聖書をよく調べて、イエス様を信じましたが、中には奇跡のわざを求めて従う者も大勢いました。
これら自分本位の人々が区別されるために、イエス様はたとえを用いて話されたのです。まさに「耳のある者」でなければ、神の国の真理を知ることにはできないのです。私たちはこの弟子たちのように、「聞いているから幸い」です。
救われて、神の国の真理が分るものとなっていくことに感謝しつつ、みことばに従っていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



13日 金曜

マタイ



13:18 ですから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。

13:19 だれでも御国のことばを聞いて悟らないと、悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪います。道端に蒔かれたものとは、このような人のことです。

13:20 また岩地に蒔かれたものとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。

13:21 しかし自分の中に根がなく、しばらく続くだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。

13:22 茨の中に蒔かれたものとは、みことばを聞くが、この世の思い煩いと富の誘惑がみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。

13:23 良い地に蒔かれたものとは、みことばを聞いて悟る人のことです。本当に実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。」

13:24 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国は次のようにたとえられます。ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。

13:25 ところが人々が眠っている間に敵が来て、麦の中に毒麦を蒔いて立ち去った。

13:26 麦が芽を出し実ったとき、毒麦も現れた。

13:27 それで、しもべたちが主人のところに来て言った。『ご主人様、畑には良い麦を蒔かれたのではなかったでしょうか。どうして毒麦が生えたのでしょうか。』

13:28 主人は言った。『敵がしたことだ。』

すると、しもべたちは言った。『それでは、私たちが行って毒麦を抜き集めましょうか。』

13:29 しかし、主人は言った。『いや。毒麦を抜き集めるうちに麦も一緒に抜き取るかもしれない。』

13:30 だから、収穫まで両方とも育つままにしておきなさい。収穫の時に、私は刈る者たちに、まず毒麦を集めて焼くために束にし、麦のほうは集めて私の倉に納めなさい、と言おう。』』

実を結ぶ者となりましょう。そのために、みことばを聞いて悟らないままにしないようにしましょう。踏み固められた道のように、礼拝が単なる習慣になってしまわないように。分らなかったら、祈って聖霊によって聞き、自分のこととして考えることです。またそのために、根をしっかりとほりましょう。みことばに根ざして行動し、また人生の基盤をみことばの価値観によって据えることです。さらにそのためには、惑わしになるものがあつたら、それを取り除けましょう。生活からもまた思いからも。

そして、「みことばを聞いて悟り」、多くの実を結びましょう。悟りたいという、謙遜で主に従順な思いの、「良い地」のような心でありましょう。

次のたとえも大切です。「天の御国」に「毒麦」があるのは奇異に感じるかもしれませんが、これは死後に行くところの天国ではありません。神の支配ということです。この世は神様が支配していますが、悪や神への反逆が横行しているのは、それも神の権威の中にあるのであって、神様は悪が明かになるまで、放置しておられるという側面もあるということです。

人間の好き放題、不信仰が続けられるからといって、神をあなどってはなりません。世の中もそうですが、もしも自分の心の中に毒麦のようなものがあると気づいているなら、それを取り除け

ましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



14日 土曜

マタイ



13:31 イエスはまた、別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国はからし種に似ています。人はそれを取って畑に蒔きます。13:32 どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなって木となり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るようになります。」

13:33 イエスはまた、別のたとえを彼らに話された。「天の御国はパン種に似ています。女の人がそれを取って三サトンの小麦粉の中に混ぜると、全体がふくらみます。」

13:34 イエスは、これらのことをみな、たとえて群衆に話された。たとえを使わずには何も話されなかった。

13:35 それは、預言者を通して語られたことが、成就するためであった。「私は口を開いて、たとえ話を、世界の基が据えられたときから隠されていることを語ろう。」

13:36 それから、イエスは群衆を解散させて家に入られた。すると弟子たちがみもとに来て、「畑の毒麦のたとえを説明してください」と言った。

13:37 イエスは答えられた。「良い種を蒔く人は人の子です。」

13:38 畑は世界で、良い種は御国の子ら、毒麦は悪い者の子らです。

13:39 毒麦を蒔いた敵は悪魔であり、収穫は世の終わり、刈る者は御使いたちです。

13:40 ですから、毒麦が集められて火で焼かれるように、世の終わりにもそのようになります。

13:41 人の子は御使いたちを遣わします。彼らは、すべてのつまずきと、不法を行う者た

ちを御国から取り集めて、
13:42 火の燃える炉の中に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ぎしりするのです。
13:43 そのとき、正しい人たちは彼らの父の御国で太陽のように輝きます。耳のある者は聞きなさい。

神の国、すなわち神様が支配されるということとは、どんな小さく見えることからでも偉大なみわざが行われるということです。からしだねやパン種のような小さなものでも、神様にあっては大きな可能性があるのです。重要なことは、「天の御国」と言えるほどに、神様の権威があらわされているかどうかです。

神様をあがめ、神様の栄光を表し、神様の権威を認め、神様に王座を明け渡しましょう。それがすばらしいみわざの条件です。

毒麦のたとえのように、この世はやがて必ずさばかれるときが来ます。いつまでも今の状態が続くような感覚にとらわれがちですが、世の終わりがあることを忘れないで、それが希望となるような生き方をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



13:44 天の御国は畑に隠された宝のようなものです。その宝を見つけた人は、それをそのまま隠しておきます。そして喜びのあまり、行って、持っている物すべてを売り払い、その畑を買います。

13:45 天の御国はまた、良い真珠を探している商人のようなものです。

13:46 高価な真珠の一つ見つけた商人は、行って、持っていた物すべてを売り払い、それを買います。

13:47 また、天の御国は、海に投げ入れてあらゆる種類の魚を集める網のようなものです。

13:48 網がいっぱいになると、人々はそれを岸に引き上げ、座って、良いものは入れ物に入れ、悪いものは外に投げ捨てます。

13:49 この世の終わりににもそのようになります。御使いたちが来て、正しい者たちの中から悪い者どもをより分け、

13:50 火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ざりしりするのです。

13:51 あなたがたは、これらのことがみな分かりましたか。」彼らは「はい」と言った。

13:52 そこでイエスは言われた。「こういうわけで、天の御国の弟子となった学者はみな、自分の倉から新しい物と古い物を取り出す、一家の主人のようです。」

13:53 イエスはこれらのたとえを話し終えると、そこを立ち去り、

13:54 ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と奇蹟を行う力をどこから得たのだろう。」

13:55 この人は大工の息子ではないか。母は

マリアといい、弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダではないか。

13:56 妹たちもみな私たちと一緒にいるではないか。それなら、この人はこれらのものをみな、どこから得たのだろう。」

13:57 こうして彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が敬われないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」

13:58 そして彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇蹟をなさらなかった。

「天の御国」は「持ち物をすべて売り払」ってでも、手に入れる価値のあるものです。また「天の御国」では、「良いもの」と「悪いもの」とがはっきりと区別されるほど、価値観や善悪や正誤が明確です。私たちも自分のあいまいさを、いつまでも続けることはできないのだと知って、その信仰の行いを明確にしましょう。

イエス様を信じようとしなない人は、どんなことでも批判のタネにしようとしします。郷里では、イエス様の家族が普通の人であることで、イエス様を信じようとしませんでした。神が人とならなければ罪の贖いは実現しませんでした。その人となられたという事実が、不信者にはつまずきとなるのです。

イエス様は彼らには奇蹟の力を見せても、それが信仰につながらないと判断なさって、奇蹟を行わなかったと思われます。

心からイエス様を尊敬し、それ以上にあがめて、信仰を持って、奇蹟のわざをしていただけるようでありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（気持や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

